

研究課題名	間質性肺疾患急性増悪に対する理学療法の効果
研究実施機関名および 研究責任者（所属科、職名等）	さいたま赤十字病院リハビリテーション科 田島真哉
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院リハビリテーション科 田島真哉
研究期間	2021年10月1日～2026年10月1日
研究の目的と意義	近年、呼吸リハビリテーションに関して多くの研究がなされており、エビデンスが確立されつつあるが、間質性肺疾患急性増悪患者への呼吸リハビリテーションの効果は未だ認められていない。理学療法介入の効果の証明と有効な評価指標を提唱し、呼吸リハビリテーションの発展に寄与すること。
本研究の対象となる方	2021年10月1日～2026年10月1日の間に当院に間質性肺疾患急性増悪の診断で入院された方
提供していただく情報	年齢、性別、喫煙歴、転帰、検査情報、身体機能評価
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院リハビリテーション科 氏名：田島真哉 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111（内線20631）